

国内グループ会社

ゼオン化成

会社紹介

ゼオン化成株式会社は、1981 年に日本ゼオン株式会社の加工品事業部が独立して発足しました。合成樹脂コンパウンド※¹、包装材料、建築材料、各種フィルム、熱伝導性シート、消臭剤、物流資材等の事業を展開し、ゼオングループの加工品分野の中核会社として発展してきました。2012 年 2 月には、グローバル化の一環としてパウダースラッシュコンパウンド※² の中国工場が稼働し、同 7 月から本生産の予定です。さらに 2013 年には、物流資材である STEC[®](ステック)(合成ゴム用コンテナ)のベトナム生産工場が稼働します。これからは環境とアメニティをキーワードに、幅広い分野で社会に貢献していきます。

※¹ 合成樹脂コンパウンド

プラスチックに着色料等を分散させたペレット状の製品

※² パウダースラッシュコンパウンド

金型面で成膜させるための微粒子コンパウンド



小倉由郎社長



ゼオン化成山口工場

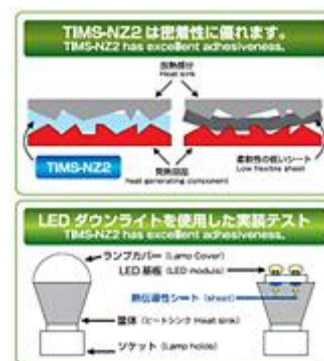
環境安全活動

1. 本業を通じた環境安全活動

2012 年 2 月から、当社の高熱伝導性シートが大手家電メーカーの LED 照明に採用されることになりました。

ご存知のように、2011 年同様 2012 年の夏も電力不足が予想され、節電対策として LED 照明が注目されています。

LED 照明の節電効果を発現させるためには、放熱対策が重要です。当社高熱伝導性シートは厚み方向(表面から裏面への垂直方向)の放熱性能、柔軟性、密着性等、総合的なバランスが評価され、採用されました。放熱対策の必要性は照明用途だけでなく、電子機器用途、自動車部品用途と多岐に渡るため、今後の用途展開が期待されています。



2. 環境安全に関する取り組み

茨城工場では、日本ゼオングループの環境中長期計画に基づき、産業廃棄物の埋立処分量を 2009 年度の 95 トンから、2015 年度までに 0 トンとすることを目標にゼロエミッション活動を行ってきました。

活動の取り組みが計画よりも 4 年早く進み、2011 年 4 月には埋立処分量が 0 トンとなり、2012 年 3 月においても 0 トンを継続しています。

すでに埋立処分量 0 トンを達成し継続している山口工場を含め、ゼオン化成の全事業所において、2011 年の 4 月より埋立処分量 0 トンを継続しています。



茨城工場

3. 環境関連データ

ゼオン化成(株)茨城工場		2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	3	4	5	7	7
	使用量(トン)	100	90	70	95	61
	排出量(トン)	6.0	5.5	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	611	550	530	648	529
	埋立処分量(トン)	198	176	95	69	0.0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		23	14	22	34	41
CO ₂ 排出量(トン)		3,700	4,440	3,309	4,257	3,845
エネルギー使用量(原油換算、kL)		1,866	1,833	1,992	2,328	2,191

ゼオン化成(株)山口工場		2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	1	1	3	3	3
	使用量(トン)	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0
	排出量(トン)	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	76	71	187	99	91
	埋立処分量(トン)	0	0	0	0	0.0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		-	0	0	0	0.2
CO ₂ 排出量(トン)		266	234	213	231	412
エネルギー使用量(原油換算、kL)		110	97	105	94	147

地域との共生活動

1. 茨城ゼオン化成の震災被災地復興支援バスツアー

2011 年 9 月、ゼオン化成の 30 周年行事として、工場のある茨城県内において東日本大震災で大きな被害を受けた、那珂湊・大洗への復興支援バスツアーを開催しました。

ツアーの最初に立ち寄った「めんたいパーク」では、震災時の写真の展示や、津波の高さを示す印があり、震災当時の様子を知ることができました。大洗水族館見学や地元での買い物等を通じて、被災地の経済復興にささやかではありますが貢献しました。

2. 「ものづくり人材育成」の一環として山口工場の見学会を開催

2011 年 6 月、山口工場のある光市を含む周南地域の商工会議所が協力して行っている「ものづくり人材育成地域連携促進事業」の一環として、田布施工業高等学校の父母、教員、商工会議所の担当者ら 11 名による山口工場の見学会が行われました。

DVD による工場の紹介後、工場内を見学していただきました。見学後は質疑応答や意見交換を行い、和やかな雰囲気のもとに見学会を終了しました。

山口工場では、今後も機会があれば地域との交流を目的に、見学の受け入れを続けたいと考えています。



山口工場と工場見学ツアー送迎バス